

国立大学法人 奈良女子大学

記念館一般公開

入場
無料

旧奈良女子高等師範学校本館 《重要文化財》

平成26年4月30日(水)～5月6日(火・祝)

午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

特別
展示

視る・聴く・学ぶ

〈企画内容〉奈良女子大学所蔵教育資料「明治教育文庫」展示
「百年ピアノ」(国産最古級のグランドピアノ)演奏
(土・日・祝日 10時～10時30分)

百年ピアノ



「明治教育文庫」より 教育用掛図(徳川時代寺子屋ノ図)

交通

近鉄奈良駅①出口から徒歩約5分
JR奈良駅から市内循環バス
近鉄奈良駅前下車徒歩約5分
※車で来場はご遠慮願います。

連絡先

奈良女子大学 総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



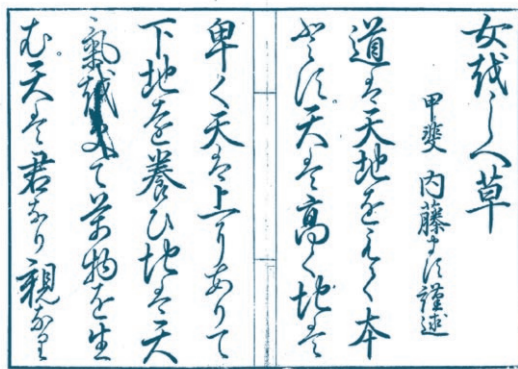
奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月からはじまり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。

設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入したもっとも古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」がおかれ、往事を偲ぶことができます。



『女をしへ草』
内藤未須／著
明治六年

『女教諭躰種』
松川半山／著
刊年不明



『教育用掛図』
日本歴史掛図(第拾輯拾枚ノ内)
鉄砲伝来之図

特別展示：見る・聴く・学ぶ

奈良女子高等師範学校は、女子への教育機運の高まりに応えるため、国内で二校目の女子の中等教育を担う教員を養成する機関として、1908(明治41)年3月に設置されました。爾来、学制の変更にともない1949(昭和24)年に奈良女子大学となるまでに、3,072名の卒業生を輩出しました。

今季の特別展示では、本学が蒐集した総数約1,800点にのぼる明治期の教育書・教科書等の資料「明治教育文庫」を紹介します。当該文庫には明治期に普及した代表的な教科書のほか、二代目校長 榎山栄治の初期の著書など、多くの貴重な書物が含まれています。この中から明治初期の木版の貴重な修身書、女子修身書等と奈良女子高等師範学校付属学校で使用されていた教育用掛図を展示します。

また奈良女子高等師範学校において授業を開始した1909(明治42)年に購入したグランドピアノは国産の最古級のピアノとして知られており、「百年ピアノ」の愛称で現在記念館2階講堂に保管し、現在も活用しています。展示期間中の土・日・祝日の10時から30分間、本学のピアノサークル「piano-forte」の学生が演奏を行います。明治期の日本の技術の粋を集めたピアノの音色をお聞きいただければ幸いです。

奈良女子大学記念館 館長 井上 容子

